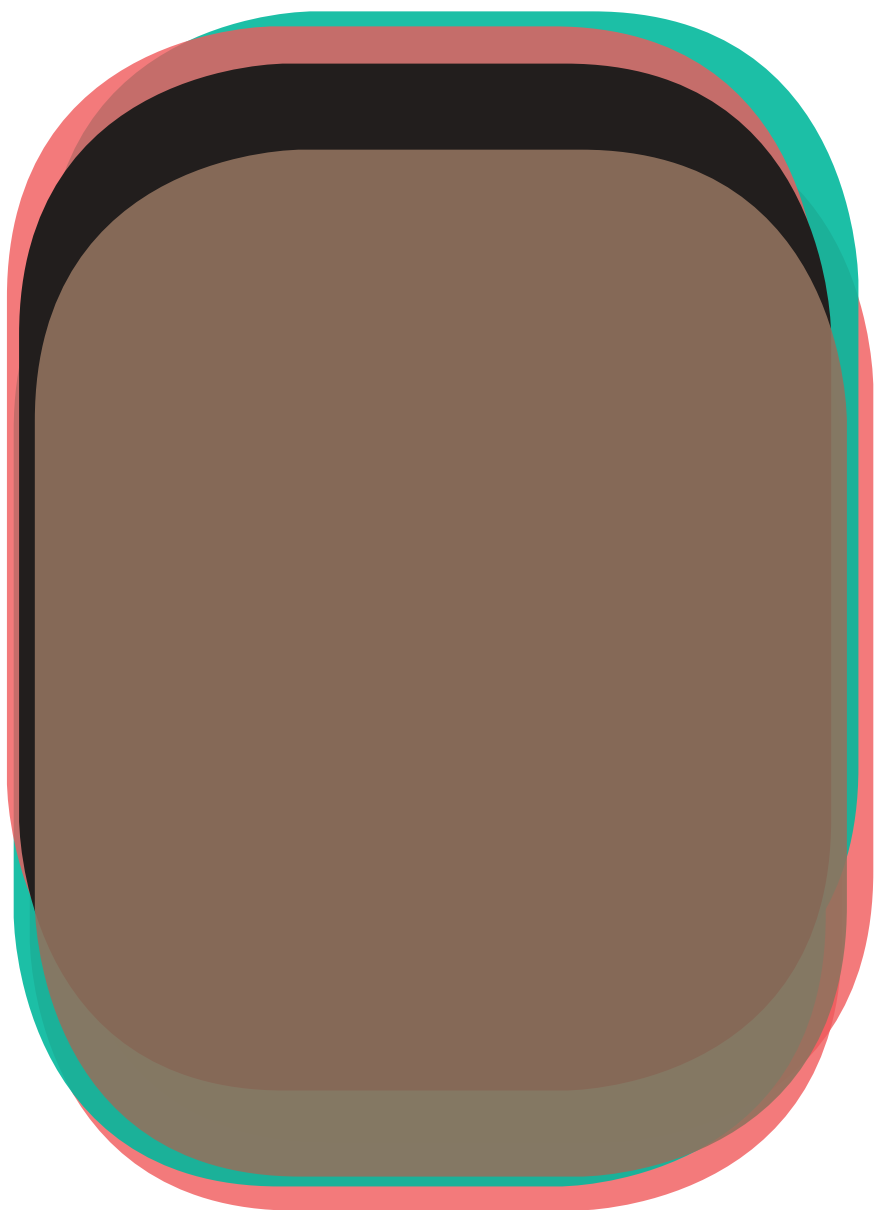


ロームシアター京都



自主事業ラインアップ

— 2018.4 — 2019.3

ROHM THEATRE KYOTO

ロームシアター京都
ROHM Theatre Kyoto

ロームシアター京都

2018年度(平成30年度)自主事業ラインアップ

今年度は2016年(平成28年)1月のリニューアルオープンから3年目、劇場のレギュラーシーズンとしては2年目を迎えます。

京都に「劇場文化をつくる」ことを目指し、自ら企画に取り組んだ多彩な事業を引き続きお届けします。

洋の東西を問わず、世界水準の優れた作品をお届けすることはもちろん、劇場の財産となる作品のプロデュースや次代を担う芸術家の育成にも、

より一層力を入れて取り組みます。また京都のさまざまな施設や団体と連携し、世代・趣味趣向の違いを越えた人々が参加できる多彩なプログラムを通じて、劇場をハブに多様な出会い・交流・対話を生み出します。

こうしたロームシアター京都で生まれる営みが蓄積となり、さらに人々が引き寄せられ、日常のかつ継続的にロームシアター京都に足を運ぶ、あるいは関心を寄せるというサイクルを生み出すことを目指します。

ロームシアター京都

私たちが共有する時間

2018年度自主事業の企画にあたって

劇場は建物として物理的に存在するだけでなく、時代の流れの中で様々な人々が行き交う広場である。長期的視野に立った歴史的視座と、世界中を視野におさめた空間的視座の交差する地点が「いま・ここ」であり、それを体験できる場が「ライブ」という意味を超えた、本質的な意味での「劇場」と言えるのではないだろうか。

時代を超えて文化を受け継ぐ共同体に属する人々、あるいは同時代に生きる世界中の人々が共有するものとは何か、舞台芸術を通じて考えてみたい。

そのために、古今東西のクラシック(古典)を再訪し、それらが繰り返しのレパトリーとして上演されることの意味や、新しい創作にインスピレーションを与える価値を見つめ直していく。同時に、作品と社会の関係や作品を生み出し育てるための様々な視座を得ながら、ロームシアター京都ならではの方法を試行錯誤し、劇場が果たすべき役割を見出していく。

プログラムディレクター 橋本裕介

月	日	会場	事業名	ジャンル
5	23[水]	サウスホール	第340回 市民寄席	演劇
	31[木]	メインホール	京都 発見!クラシック Vol.8	音楽
6	1[金]、2[土]	メインホール	能の世界へおこしやすー京都薪能鑑賞のための公開講座ー	演劇
	1[金]、2[土]	平安神宮 (雨天時:メインホール)	第69回 京都薪能ー悲劇の英雄 義経の生涯ー	演劇
	8[金]	サウスホール	『芒の植え付け』 『踊り場・叩き場/ 田中浜meets 中村達也』	舞踊
7	15[金]-17[日]	サウスホール	HANGMEN (ハンクマン)	演劇
	23[土]、24[日]	ロームシアター 京都ほか	京都岡崎音楽祭2018 OKAZAKI LOOPS	音楽
	6[金]-8[日]	サウスホール	ミュンヘン・カンマーシュピレ『NŌ THEATER』(岡田利規 演出作品)	演劇
8	18[水]-21[土]	ノースホール	地点『忘れる日本人』	演劇
	25[水]	サウスホール	第341回 市民寄席	演劇
	11[土・祝]、12[日]	ノースホール	プレイ!シアター in Summer プレ企画 アクラム・カーン振付『Chotto Dosh / チョット・デッシュ』	参加する劇場へ
9	14[火]、15[水]	ロームシアター 京都全館	プレイ!シアター in Summer	参加する劇場へ
	23[木]	サウスホール	能楽チャリティ公演 ~被災地復興、京都からの祈り~	演劇
	17[月・祝]	サウスホール	第342回 市民寄席	演劇
10	21[金]、22[土]	サウスホール	ロレーヌ国立バレエ団 トリプルビル	舞踊
	29[土]	サウスホール	音楽の現在 音楽、言葉、表現が競い合うコンサート=CONTEMPORARY THEATER	音楽
	6[土]-28[日]	ロームシアター 京都ほか	KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2018	総合
11	29[月]、31[水]	メインホール	平成30年度 新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室・関西公演『魔笛』	音楽
	27[火]	サウスホール	第343回 市民寄席	演劇
	1[土]、2[日](予定)	京都市呉竹文化 センター	CIRCULATION KYOTOー劇場編 1 中野成樹+フランケンズ	参加する劇場へ
12	9[日]	サウスホール	京都オペラ協会定期公演 『カプレーティ家とモンテッキ家』~ロミオとジュリエット~	音楽
	14[金]-16[日]	ノースホール	U35 創造支援プログラム“KIPPU” 1 ブルーエゴナク	総合
	15[土]、16[日](予定)	京都市西文化 会館ウエスティ	CIRCULATION KYOTOー劇場編 2 村川拓也	参加する劇場へ
1	6[日]	メインホール	京響クロスオーバー「バレエ×オーケストラ」~ニューイヤー・ガラ~	音楽
	11[金]、12[土]	サウスホール	笠井叙振付『高丘親王航海記』	舞踊
	12[土]、13[日](予定)	京都市東部 文化会館	CIRCULATION KYOTOー劇場編 3 相模友士郎	参加する劇場へ
2	17[木]-20[日]	ノースホール	U35 創造支援プログラム“KIPPU” 2 安住の地	総合
	27[日]	サウスホール	第344回 市民寄席	演劇
	2[土]、3[日](予定)	京都市北 文化会館	CIRCULATION KYOTOー劇場編 4 遠山昇司×花房観音×円居挽	参加する劇場へ
3	3[日]	サウスホール	シリーズ 舞台芸術としての伝統芸能 vol.2 能楽『鷹姫』	演劇
	10[日]、11[月・祝]	サウスホール	レパトリーの創造 木ノ下歌舞伎『糸井版 撰州合邦辻』	演劇
	15[金]、16[土]	ノースホール	U35 創造支援プログラム“KIPPU” 3 akakilike	総合
未定(下旬)	未定(下旬)	ノースホール	第4回 全国学生演劇祭	演劇
	未定	メインホール	小澤征爾音楽塾 オペラ・プロジェクトXVII	音楽
	未定(下旬)	ノースホール	MONO『タイトル未定』	演劇
2019	23[土]、24[日](予定)	京都市右京 ふれあい文化会館	CIRCULATION KYOTOー劇場編 5 きたまり	参加する劇場へ

演劇 / THEATER

主催

市民寄席

第340回 - 344回



桂米團治

桂あやめ

笑福亭鶴二

露の瑞

永く愛され続ける市民寄席

1957年にスタートし、京都では恒例の落語会として長く親しまれてきた「市民寄席」。幅広い世代に笑いを届ける上方落語の生の迫力と寄席の雰囲気をご体験ください。

第340回番組 | 「犬の目」露の瑞、「祝いのし」笑福亭鶴二、
「妙齢女子の微妙なところ」桂あやめ、「高津の富」桂米團治

日時 | 第340回 5月23日 [水] 19:00 開演

第341回 7月25日 [水] 19:00 開演

第342回 9月17日 [月・祝] 13:30 開演 ★託児あり

第343回 11月27日 [火] 19:00 開演

第344回 2019年1月27日 [日] 13:30 開演 ★託児あり

全席指定 5月、7月、11月回 | 前売1,800円/当日2,000円/ユース(25歳以下)1,500円 (前売・当日とも)
9月、1月回 | 前売2,300円/当日2,500円/ユース(25歳以下)1,500円 (前売・当日とも)
[第340回 (5月) 前売完売/第341回 (7月) 5月23日 (水) 一般発売開始]

会場

サウスホール

主催 | 京都市、ロームシアター京都 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)
平成30年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業



能の魅力に触れて、さらなる理解を深めるレクチャー

京都薪能を通じて能と狂言の世界をお楽しみいただくために、出演者による公開レクチャーを今年も実施いたします。能の謡や囃子、狂言の体験を交えた解説の後に、ダイジェスト版の能も鑑賞していただけます。

全席自由 無料 京都薪能チケットを持参の場合は申込不要、当該公演のみ参加の場合は要事前申込 (4月13日~5月24日まで、京都いつでもコール (661-3755) にて受付)

主催 | 京都市、一般社団法人京都能楽会、ロームシアター京都 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

共催 第69回京都薪能 一悲劇の英雄 義経の生涯

日時 | 6月1日 [金]・2日 [土] 18:00開演 [両日] 会場 | 平安神宮 (雨天時 | メインホール)

全席自由 前売券4,000円 ほか [発売中]

主催 | 京都市、一般社団法人京都能楽会 共催 | ロームシアター京都 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

主催

能の世界へおこしやす
— 京都薪能鑑賞のための公開講座 —

日時

6月1日 [金]

2日 [土]

14:00開演 (両日)

会場

メインホール

主催

HANGMEN
(ハンクマン)

日程

6月15日 [金]

-17日 [日]

会場

サウスホール

映画「スリー・ビルボード」脚本・監督でも注目の
マーティン・マクドナー最新戯曲

『ウィー・トーマス』(2003年・2006年)、『ピロマン』(2004年)、『ビューティー・クイーン・オブ・リナーン』(2007年)に続き、長塚圭史が挑む、マクドナーの最新戯曲『ハンクマン』。

2015年9月ロンドンのロイヤルコートシアターで幕を開けるとたちまち評判となり、早くも同年12月からウエストエンドで上演開始、2016年ローレンス・オリヴィエ賞「BESTPLAY」に輝いた話題作です。

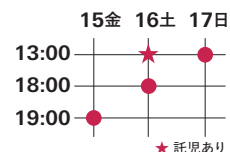
演出の長塚圭史は、マクドナー作品では、読売演劇大賞優秀演出賞、朝日舞台芸術賞などを受賞、またその斬新で挑戦的な演出は日本演劇界を騒然とさせました。そこにいる人間の渴望、悪意、不器用な愛情。不吉な訪問者。そして真っ黒なユーモア。マクドナーをこよなく愛す長塚が、本作品でもその独特な世界観で観客を魅了します。

作 | マーティン・マクドナー 翻訳 | 小川絵梨子 演出 | 長塚圭史

出演 | 田中哲司、秋山菜津子、大東駿介、宮崎吐夢、大森博史、長塚圭史、市川しんぺー、谷川昭一郎、村上航、富田望生、三上市朗、羽場裕一

あらすじ

1963年。イングランドの刑務所。絞首刑執行人 (ハンクマン) ハリーは、婦女殺人犯ヘネシーの刑を執行しようとしていた。しかし、ヘネシーは冤罪を訴えベッドにしがみつき叫ぶ。「せめてピアポイントを呼べ!」。ピアポイントに次いで「二番目に有名」なハンクマンであることを刺激され、乱暴に刑を執行するのだった。2年後。1965年。イングランド北西部の町・オールダムにある小さなパブ。死刑制度が廃止になった日、ハンクマン・ハリーの店では常連客がいつものようにビールを飲んでた。最後のハンクマンであるハリーが何か語ることに期待しながら。そこに、見慣れない若い男・ムーニーが入ってくる。不穏な空気を纏い、不思議な存在感を放ちながら。謎の男の訪問をきっかけに事態はスリリングに加速する。



全席指定 一般7,500円/ユース(25歳以下) 5,500円 [発売中]

主催 | ロームシアター京都 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市 企画製作 | 株式会社パルコ

主催

ミュンヘン・カンマーシュピール
 NO THEATER
 (ドイツ語上演 / 日本語共監訳専)

日程
 7月6日 [金]
 -8日 [日]

会場
 サウスホール

岡田利規作・演出、ドイツ有数の公立劇場

ミュンヘン・カンマーシュピールによる話題作が待望の来日

ドイツ有数の公立劇場ミュンヘン・カンマーシュピールにて、日本人演出家としては初めて3シーズンにわたるレパートリー作品の演出を務めた岡田利規(チェルフィッチュ主宰)による、2017年2月に発表された作品がついにロームシアター京都に登場します。日本国内での上演はこの京都公演のみとなります。本作で岡田が取り上げるのは、日本最古の舞台芸術「能」。その様式を用いて、資本主義に飲み込まれている現代日本の姿を描き出します。音楽は、即興演奏を行う現代音楽家・内橋和久が担当します。

作・演出 | 岡田利規(チェルフィッチュ)

音楽・演奏 | 内橋和久

ドイツ語翻訳 | アンドレアス・レーゲルスベルガー

出演 | マヤ・ベックマン、アンナ・ドレクスラー、トーマス・ハウザー、イエレーナ・クルジッチ、シュテファン・メルキ

美術 | ドミニク・フーパー 衣裳 | ペレット・シャード

照明 | アンドレアス・レーフェルド ドラマトゥルク | タールン・カーデ

初演 | ミュンヘン・カンマーシュピール劇場 2017年2月

岡田利規 / Toshiki Okada

演劇作家、小説家、チェルフィッチュ主宰

1973年横浜生まれ、熊本在住。従来の演劇の概念を覆すとみなされ国内外で注目される。主な受賞歴は、『三月の5日間』にて第49回岸田國士戯曲賞、小説集『わたしたちに許された特別な時間の終わり』にて第2回大江健三郎賞。主な著書に『遊行変形していくための演劇論』、『現在地』(ともに河出書房新社)などがある。2016年よりドイツ有数の公立劇場ミュンヘン・カンマーシュピールのレパートリー作品の演出を3シーズンにわたって務めた。

6金 7土 8日
 15:00
 19:00
 ★ 託児あり

全席指定 一般4,500円 / ユース(25歳以下) 3,500円 [発売中]

製作 | ミュンヘン・カンマーシュピール劇場 主催 | ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市助成 | 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) / 独立行政法人日本芸術文化振興会、ドイツ連邦共和国外務省、ゲーテ・インスティトゥート



© Julian Baumann

ミュンヘン・カンマーシュピール

ドイツ語圏で最も重要な劇場の一つ。設立以来、劇場は所属する実力ある俳優(アンサンブル)によって形作られている。2015/2016年のシーズンから芸術監督を引き継いだマティアス・リエンタールは、社会的・政治的な焦点を当て、審美的に革新的で現代的でコスモポリタンな市立劇場となるべく、常任演出家としてニコラス・シュテマン、クリストファー・リュベングのほか、岡田利規、フィリップ・ケーン、ラビア・ムルエといったゲスト演出家による意欲的なレパートリーを生み出している。



© Julian Baumann

ミュンヘン・カンマーシュピール『NO THEATER』

岡田利規が演出を務める本作が、7月に待望の来日上演!

ドイツの公立劇場のシステムや、「能」という様式の持つ可能性について、

橋本裕介(プログラムディレクター)がインタビューを行いました。

インタビュー編集 | 高嶋慈

ミュンヘン・カンマーシュピールと「レパートリー」のシステム

橋本 | まず、ミュンヘン・カンマーシュピールはどんな劇場ですか。

岡田 | ドイツ南部のバイエルン州最大の都市、ミュンヘンの中心部に位置する市立の劇場です。2016年から、一シーズンに一つのレパートリーをつくるという仕事をそこでさせてもらっています。ドイツの劇場では、一つのシーズンにかなりの数の新作レパートリーをつくり、それらを日替りで上演します。毎晩違う演目を楽しめるので、お客さんにはすごく良いシステムです。でも運営する側にしたら、毎日舞台セットを建て込んで撤去してを繰り返すわけで、なんて大変なことをやってるんだろう、と最初は非常に驚きました。

ミュンヘン・カンマーシュピールには、客席のキャパシティが500~600名ほどの一番大きな劇場と、200名ほどの中規模の劇場と、100名程度の小さな劇場と、3つの劇場があり、それぞれがレパートリーを持って、日夜上演を行っています。

橋本 | レパートリーを数年間にわたってつくることを依頼された経緯について、教えてください。

インタビュー
 岡田利規

岡田 | 2015/2016年のシーズンから、ミュンヘン・カンマーシュピールの芸術監督がマティアス・リエンタールさんに交代しました。彼は以前、ベルリンにあるHAUという国際的なプログラムを意欲的に企画・紹介する劇場の芸術監督を長く務めていたのですが、その時チェルフィッチュは毎年のようにHAUで公演していたんです。その時から続いている関係がきっかけになっています。カンマーシュピールでレパートリーをつくらせないかという誘いを受けた時、僕は、ごくシンプルに、その新しいチャレンジをやってみたいな、と思いました。ただ、ドイツの公立劇場事情を知る関係者には、わりと心配されました(笑)。非常に独特なドイツの公立劇場のシステムに巻き込まれ、翻弄されて、疲弊するんじゃないかと。でもそんなことは全然なかった。マティアスを中心としたカンマーシュピールのチームが、良い環境を整えてくれて、その中でしっかり作品づくりができています。マティアスは、保守化したドイツ公立劇場シーンを、国際化によってかき乱そうとしています。オーストリアとスイスのドイツ語圏も含めて「ドイツ演劇」と言いますが、その外の非ドイツ語圏の演出家をプログラムに入れるというコンセプトの下、僕も呼ばれています。レパートリー制作のために、8週間ほどミュンヘンに滞在するのですが、そうするとド

そのような思いを経験させてしまった社会について告発することができる。——岡田

イツのアーティストはもとより、イランの演出家アミール・レザ・コヘスタニや、レバノンの演出家ラビア・ムルエなど、色々な地域の演出家にも会える。とても楽しいです。

『NŌ THEATER』と演劇の形式としての能

橋本 | 7月にロームシアター京都で上演する『NŌ THEATER』は、どういうきっかけで生まれた作品ですか。

岡田 | マティアスはドラマトウルク出身の人で、作り手が新しい方向に行くポテンシャルを開くことにすごく長けていて、軽い雑談中などに、色々なヒントや刺激を与えてくれます。例えば、僕は2年前、「日本文学全集」(河出書房新社)の企画で、能の謡曲や狂言の現代語訳をしました。僕が「能の形式はとても面白い」と言ったら、「それをやってみないか」ということになりました。僕が演劇をつくる者として能が一番惹かれる点は、能という演劇の形式や語り方の構造が、非常に演劇的に強く、良くできている点です。既にあるオリジナルの演目を現代的に翻案するというのではなく、能の形式を使った新しい作品をつくりたいと思いました。

橋本 | 『NŌ THEATER』はどんな作品ですか。

岡田 | 能が演劇の形式としてすごく強いと思う点の一つは、主人公が幽霊であることです。未練や満たされない思いを抱えて死んでしまった人物が幽霊として出てきます。死んではいるけど、「幽霊」として生きているので、未練や自分に起こった出来事について舞台上で話すことがで



岡田利規 ©Kikuko Usuyama

きます。満たされない思いを抱えて死んだ人物は、多くの場合、その時代の社会的な状況が原因で死んでいます。だから、その人たちの満たされなさを描くことで、そのような思いを経験させてしまった社会について告発することができる。そこに興味がありました。

『NŌ THEATER』では二つの能—「能」と言う時にいつも、ちょっとだけためらいが生じるのですが(笑)—、が上演されます。ひとつは、「罪の意識」を扱ったものです。オリジナルの能は仏教的な価値観に基づくので、例えば「殺生」は罪とされます。それに該当する現代における「罪深いもの」として、「金融」があります。現代では、ある意味では戦争以上に、「金融」が人々を苦しめ、殺していると言えるんじゃないか。そういうわけで、「金融をめぐる能」を書きました。

もう一つの能は女性が主人公です。「フェミニズムの能」と言えるかもしれませんが。能には、例えば、男だったら戦に出て武勲を上げられるけど、女だからという理由でできない。そのことにフラストレーションを持っている女性が主人公の話もあります。現代でも通用するテーマですよ。舞台のセットは、東京の地下鉄のプラットフォームです。舞台美術のドミニク・フーバーさんのアイデアで、素晴らしい発想だと思います。二つの能の間に、ちょっとした狂言もあります(笑)。

橋本 | 日本での上演にあたり、観客に対してどんな作用を及ぼしたいと考えておられますか。

岡田 | 現在の日本が舞台で、自分たちの社会が直接的に扱われているので、ミュンヘンの観客に対して起きている作用よりも強いものが起きたいなと思います。ドイツの役者がドイツ語で演じるので、日本社会を扱う作品を字幕を通して見ることは、きっと面白い経験になるのではとも思います。また、この作品は本物の能ではないからこそ、むしろ能のエッセンスがくっきりと見えてくるようなものかもしれないという期待もあります。

橋本 | ありがとうございました。

共催

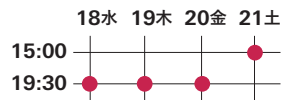
地点『忘れる日本人』



黙らない。手離さない。希望なんて言葉では追いつかない。期待と忘却の織りなすリズムにのれ!

処女戯曲『みちゆき』(AAF戯曲賞大賞受賞)で鮮烈なデビューを果たした松原俊太郎の長編二作目となる本作は、震災以降の日本社会に対する痛烈な批判でありながら、死者とともにあること、忘却についての哲学的論考を含む大作。

作 | 松原俊太郎 演出 | 三浦基
出演 | 安部聡子、石田大、小河原康二、窪田史恵、小林洋平、田中祐気、麻上しおり



日程
7月18日[水]
—21日[土]

会場
ノースホール

全席自由 一般 | 前売3,500円 / 当日4,000円
学生 | 前売2,500円 / 当日3,000円
高校生以下1,000円 [5月16日(水)一般発売開始]

主催 | 合同会社地点 製作 | KAAT 神奈川芸術劇場、合同会社地点
共催 | ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 後援 | 京都市

共催



被災地の復興を支援するため、京都在籍の能楽師有志による能楽チャリティ公演を昨年に引き続き開催します。

第1部 | 能「翁」(翁: 片山九郎右衛門、三番三: 茂山千三郎、千歳: 橋本忠樹)
狂言「土筆」(シテ: 茂山逸平)、能「葵上」(シテ: 吉浪壽晃)
第2部 | 能「翁」(翁: 井上裕久、三番三: 茂山忠三郎、千歳: 河村和晃)
狂言「舟船」(シテ: 茂山千五郎)、能「小鍛冶」(シテ: 大江泰正)

全席自由 1,500円 [6月1日(金)一般発売開始]
※各部それぞれにご入場券が必要です

主催 | 京都在籍能楽師有志
共催 | 京都市、ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、国際交流基金京都支部

能楽チャリティ公演
被災地復興、京都からの祈り

日時
8月23日[木]
第1部 10:30開演
第2部 18:30開演

会場
サウスホール

主催

シリーズ舞台芸術としての 伝統芸能 vol.2 能楽『鷹姫』



片山九郎右衛門

伝統芸能の継承と創造を目指す シリーズ第二弾は、“能”がテーマ

平成29年度から始まった伝統芸能の継承と創造を目指す新シリーズ「舞台芸術としての伝統芸能」。2年目となる平成30年度は、“能”をテーマに、「鷹姫」を舞台芸術バージョンとして上演。上演後には、能楽師と専門家によるディスカッションも行います。

原作 | W.B. イエーツ 能本作者 | 横道萬里雄
 曲節作者 | 観世寿夫 演出 | 観世鏡之丞
 出演 | 観世鏡之丞、片山九郎右衛門 ほか

日程

2019年
2月3日[日]

会場

サウスホール

主催 | 京都市、ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)
 平成30年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業



『心中天の網島—2017リクリエーション版—』 © Takuya Matsumi

古来より脈々と語り継がれてきた名曲、物語を、 “現代の異物”として観客へ引き放ち、わたしたちの 生/性/聖を更新する、新たな音楽劇への挑戦

末永く地域で上演されるレパートリー作品を劇場が生み出すべく、アーティストとタグを組む「レパートリーの創造」プログラム。昨年10月に『心中天の網島—2017リクリエーション版—』を上演し、大きな反響を呼んだ木ノ下歌舞伎とのプロジェクト第二弾は、穂の国とよはし芸術劇場PLAT、KAAT神奈川芸術劇場との三館共同製作で挑みます。説教節「しんとく丸」や「愛護の若」を元にし、人形浄瑠璃、歌舞伎、文学、演劇と時代により形を変えながらも古来より脈々と語り継がれてきた名曲、物語を、木ノ下歌舞伎×糸井幸之介のタグが、壮大なスケールをもった音楽劇として現代に紡ぎ直します。

作 | 菅専助、若竹笛躬 監修・補綴・上演台本 | 木ノ下裕一
 上演台本・演出・音楽 | 糸井幸之介 (FUKAIPRODUCE羽衣)
 音楽監修 | manzo 振付 | 北尾亘
 出演 | 内田慈、田川隼嗣、土居志央梨、大石将弘、
 金子岳憲、伊東沙保、西田夏奈子、武谷公雄

全席指定 一般3,500円 ほか [10月20日(土)一般発売開始]

企画制作 | ロームシアター京都、木ノ下歌舞伎 製作 | ロームシアター京都 共同製作 | 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT、KAAT 神奈川芸術劇場 主催 | ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市 平成30年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

主催

レパートリーの創造 『木ノ下歌舞伎 糸井版撰州合邦辻』

日程

2019年
2月10日[日]
11日[月・祝]

会場

サウスホール

共催

第4回 全国学生演劇祭



はねるつみき『昨日を0とした場合の明後日』 撮影 | 松田ミネタカ

日程

2019年
2月下旬

会場

ノースホール

全国学生演劇祭は、全国各地の演劇祭を勝ち抜いてきた学生劇団が京都に集結し、日本一を競う演劇の祭典です。ロームシアター京都にまだ見ぬ才能が集結する貴重な機会を、お見逃しなく!

主催 | 全国学生演劇祭実行委員会

共催 | ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 後援 | 京都市(申請予定)

共催

MONO 『タイトル未定』



2018年上演『隣の芝生も。』 撮影 | 谷古宇正彦

笑いと、さりげなく現代社会の問題を 描き出す会話劇が人気の劇団による新作

1989年の結成以降、京都を拠点に活動を続けてきたMONOによる10年ぶりの京都公演が実現。現在放送中のテレビドラマ『崖っぷちホテル!』の脚本など、多方面で活躍する土田英生が作・演出を務める新作コメディにご期待ください。

料金未定 [2019年1月一般発売開始予定]

主催 | MONO 共催 | ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)
 後援 | 京都市(申請予定)

日程

2019年
3月下旬

会場

ノースホール

フランスで育まれたバレエの「現在」を見る

芳賀直子（舞踊史研究者）

日本でもっとも知られ、上演されているチャイコフスキー三大バレエ（『眠れる森の美女』『くるみ割り人形』『白鳥の湖』）を振付けたマリウス・プティパはフランス人です。彼はパリでの活躍を目指したものの、その場がなかったためロシアへ渡ったのです。大雑把に言うとフランスで男性ダンサーの活躍の場がなかった事が三大バレエを生んだとも言えます。歴史とは不思議なものです。

そんなフランスでバレエが再び脚光を浴びたのは1909年のセルジュ・ディアギレフ率いるバレエ・リュスのパリ公演によってでした。ロシアから来た男性群舞の迫力、高度な技術に支えられたダンサーがカラフルな色彩の衣裳と美術で踊るバレエ・リュスは一夜にしてパリの芸術界と社交界両方の人々にとって「見逃せない事件」となったのです。以来、バレエは「芸術」として君臨しつづけています。

バレエが長い歴史を生き延びたのは、不変の技術や作品を保ちつつ時代と共に変容し続けることができたからです。新しい技術を貪欲に取り込み、『春の祭典』に象徴されるバレエそのものを内側から破壊しかねない振付といった実験的な作品を抱え続ける豊かさがあったからなのです。

今回、上演される作品は現在のバレエならではのラインナップ。

バレエに対してのアンチとして生まれた米国モダン・ダンスの重要な振付家マース・カニンガム作品、バレエの「パ」に基づきながらそれをさらに引き延ばしたり、ねじったりすることで発展させてみせたウィリアム・フォーサイス作品、そしてバレエのステップも使いつつより広い文化圏から取り入れた動きや文脈を自在に組み合わせる作品世界を構築するセシリア・ベンゴレア&フランソワ・シェニョー作品。

いずれもいわゆるバレエから一歩進んだ私達の時代に生まれた作品です。バレエを踊るための訓練を重ねた身体から生まれる新しい、「現在」の作品は時代と共に移り変わります。バレエ団の来日では有名な全幕作品が上演されることが極めて多い日本でフランスの「現在」バレエの最先端を見られるまたとない機会です。

バレエは他のダンスとどこが違うのでしょうか。

現在では「5つのポジション」に基づくか否かしか見分けがつかなくなっています。そのポジションや世界共通のステップである「パ」といった基礎が整備された場所はバレエが成熟したフランスでした。「パ(pas)」「パ・ド・ドゥ」「ディヴェルティスマン」といったバレエ用語がフランス語なのはそうした歴史的背景によるのです。気取ってフランス語を使っているわけではありません。

ルイ14世の絶対王政の下、頂点を迎えた王侯貴族自らが踊る物としてのバレエは王が踊らなくなると、もっぱら見るものとして発展していきました。その後、幸いにもフランス革命を生き延びたバレエは職業ダンサーが踊るものとして生き続けました。

次第にスターを女性が占めるようになり、特に1830年代に全盛期を迎えたロマンティック・バレエ時代には多数の名バレリーナが生まれました。最初にトゥ・シューズで全編のバレエ作品を踊ったのはマリー・タリオニ、作品は『ラ・シルフィード』。現在でも上演される妖精の物語です。

ごく単純化して言うならば、ドイツで生まれたロマン主義文学がフランスでバレエの形で花開いたのがロマンティック・バレエ（ロマン主義バレエ）です。トゥ・シューズ、透けて見えそうな薄い生地を何枚も重ねて作る釣り鐘型のふわふわとしたスカート「ロマンティック・チュチュ」もこの時代にロマン主義文学がしばしば取り扱ったこの世のものではない存在、とりわけ妖精を表現するために生まれたのです。

しかし、次第に女性だけで踊るものになり、中心的な劇場だったオペラ座が高額な定期チケット購入者にバックステージパスを特典として付けた事によって風紀が乱れ始めます。フランスでバレエは「芸術」としては見なされず、二流の存在となり、バレエの中心地はロシアへ移っていきます。



「STEPTEXT」©LaurentPhilippe

舞踊 / DANCE

共催

『芒の植え付け』の踊り場・叩き場 田中泯 meets 中村達也



田中泯 Photo | Hayato Araki



中村達也

身体という森羅万象を抱えて土に向かい、〈踊り〉と〈農業〉を同義語とする田中泯と、巨と微を行き交い、〈時空〉を呼び起こすドラマーの中村達也の〈身体パフォーマンスと演奏〉の10年続くプロジェクトの新たな2018年プロジェクト。

出演 | 田中泯(踊り)、中村達也(ドラムス)

全席自由 前売4,000円 当日4,500円 [発売中]

主催 | 株式会社ビグトリイ

共催 | ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 後援 | 京都市

日時

6月8日[金]

19:00開演

会場

サウスホール

主催

ロレーヌ国立バレエ団 トリプルビル



「SOUNDNDANCE」©LaurentPhilippe



「STEPTEXT」©ArnoPaul



「Devoted」©ArnoPaul

20世紀から21世紀の舞踊史を俯瞰する、フランスを代表するバレエ団のトリプルビル

ヨーロッパのコンテンポラリーバレエ界を牽引する、フランスのロレーヌ国立バレエ団によるトリプルビル公演。マース・カニンガム、ウィリアム・フォーサイス、セシリア・ベンゴレアとフランソワ・シェニョーという世界的に著名な3組の振付家のレパートリーを紹介することで、コンテンポラリーダンスの半世紀を俯瞰できる、魅力的なプログラムです。

上演作品 | 『SOUNDNDANCE』振付: マース・カニンガム

『STEPTEXT』振付: ウィリアム・フォーサイス

『DEVOTED』振付: セシリア・ベンゴレア&フランソワ・シェニョー

出演 | ロレーヌ国立バレエ団

全席指定 一般6,500円/ユース(25歳以下)4,000円 [6月16日(土)一般発売開始]
(22日のみ託児あり)

主催 | ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

助成 | 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)/独立行政法人日本芸術文化振興会、アンスティチュ・フランセ パリ本部、在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本

日時

9月21日[金]

19:00開演

22日[土]

15:00開演

会場

サウスホール

主催

『高丘親王航海記』

笠井勲振付



笠井勲 ©細江英公



黒田育世 ©Daisuke Miura



近藤良平 ©HARU



寺田みさこ

日時

2019年
1月11日 [金]
12日 [土]

会場

サウスホール

澁澤龍彦の文学作品を笠井勲が舞踊作品として創作

黒田育世、近藤良平、寺田みさこらコンテンポラリーダンサーを迎えての世界初演

文学作品「高丘親王航海記」(作 | 澁澤龍彦)を、振付家・笠井勲が舞踊作品として創作し、ロームシアター京都で初演する。舞踏の創生期から活躍する笠井勲が、盟友の澁澤龍彦の原作をもって、黒田育世、近藤良平、寺田みさこといった実力、人気共にコンテンポラリーダンスを代表するダンサーを迎えての大作に挑む。

原作 | 澁澤龍彦

構成・演出・振付 | 笠井勲

出演 | 笠井勲、黒田育世、近藤良平、笠井瑞文、岡本優、篠原くらら、上村なおか、BATIK ダンサー、大使館オリエントミスト、寺田みさこ (京都公演のみ)

美術 | 榎本了壺

澁澤龍彦 / Tatsuhiko Shibusawa

作家、翻訳家

1928~1987年。東京生まれ。本名龍雄。東京大学文学部フランス文学科卒業後、マルキ・ド・サドやジャン・コクトーらの著作を翻訳するかたわら、美術評論や中世の悪魔学などのエッセイ、独自の幻想小説など、幅広いジャンルで旺盛な執筆活動を展開した。

笠井勲 / Akira Kasai

舞踏家

1943年生まれ。1960年代に大野一雄、土方巽に出会い、舞踏家として活動始める。1971年に大使館を設立、多くの舞踏家を育成する。1979年から1985年までドイツ留学し、ルドルフ・シュタイナーの人智学、オリエントミストを研究。帰国後、1994年に『セラフィータ』で舞台に復帰。2001年初演『花粉革命』は代表作として世界各都市で上演を果たす。ソロ作品のほか、ジャンルを超えたアーティストとのコラボレーションにも積極的に取り組んでいる。

全席指定 一般4,000円 / ユース (25歳以下) 3,000円 [10月13日(土)一般発売開始]

共同製作 | ロームシアター京都 主催 | ロームシアター京都 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市助成 | 文化庁文化芸術振興費補助金 (劇場・音楽堂等機能強化推進事業) / 独立行政法人日本芸術文化振興会

音楽 / MUSIC

主催

京都市交響楽団 クラシック Vol.8 京都発見!

日時

5月31日 [木]
11:00開演

会場

メインホール



©岡部太郎



©T.Tairadate

平日に毎回多彩なゲストをお迎えして、トークとオーケストラ演奏による二部構成でお贈りするコンサート。楽しいトークと共に自分流のクラシック音楽の楽しみ方を発見してみませんか?

指揮 | 大友直人 (京都市交響楽団桂冠指揮者)
管弦楽 | 京都市交響楽団
ゲスト | 奥田瑛二 (映画監督・俳優)
独奏 (ヴァイオリン) | 松田理奈

全席指定 2,000円 [発売中] <託児あり>

主催 | 京都市交響楽団、ロームシアター京都 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市平成30年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

京都の文化ゾーン岡崎エリアを舞台に、6月23日、24日の2日間にわたり、「京都岡崎音楽祭2018 OKAZAKI LOOPS」を今年も開催します。岡崎という土地を回遊 (ループ) しながら、多様なジャンルの音楽を楽しんでいただく、京都発の音楽祭です。



6月23日 [土]

agehasprings produce 《node_vol.2》
15:30開演
会場 | メインホール
出演 | 家入レオ / Aimer / 阿部真央 / 京都市交響楽団 / 岩村力 (指揮)

高木正勝ピアノソロ・コンサート
‘Marginalia (マージナリア)’
15:00開演
会場 | サウスホール

CALM - NIGHT LIBRARY LIVE- vol.2
19:00開演
会場 | 京都府立図書館
出演 | 青葉市子

両日開催

タンブッコ・パークッション・アンサンブル コンサート
13:00開演
会場 | ノースホール

その他、アーティストトークや蔦屋書店でのブックフェアなども開催します。詳細は、WEBサイト (<http://mbs.jp/okazaki-loops/>) をご覧ください。

発売中 / 一部売切あり

主催 | ロームシアター京都 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、MBS
制作 | MBS、ロームシアター京都、Sony Music Entertainment

6月24日 [日]

相対性理論 presents 『変数分離』
17:30開演
会場 | メインホール
出演 | 相対性理論

STAND UP! CLASSIC
16:00開演
会場 | サウスホール

天平ピアノコンサート
「10周年記念ツアー「三つの翼」in京都・岡崎」
18:30開演
会場 | 京都国立近代美術館
1階ロビー 特設会場
出演 | 中村天平

LOOPS PARK STAGE
11:00~
会場 | 岡崎公園 特設ステージ (無料)

ロームシアター京都
岡崎公園
京都府立図書館
京都国立近代美術館 など

京都岡崎音楽祭2018 OKAZAKI LOOPS

日程

6月23日 [土]
24日 [日]

会場

主催

タンブッコ・パーカッション・アンサンブルコンサート



**完璧な名人芸と芸術性豊かな、
見て聴いて楽しいパフォーマンスが魅力**

多彩で複雑な打楽器作品、実験的前衛音楽と、広く柔軟なレパートリーを持つ、メキシコのスーパー・パーカッション・アンサンブル「タンブッコ」によるコンサート。コンサートのほか、地域の小学生を対象とした事前のワークショップも予定しています。

日時

6月23日〔土〕
24日〔日〕

13:00開演(両日)

会場

ノースホール

全席自由 一般2,000円／高校生以下1,000円(4歳以上入場可) [発売中]

主催 | 京都市、ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)
平成30年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

column

タンブッコのわくわく 青澤隆明(音楽評論)

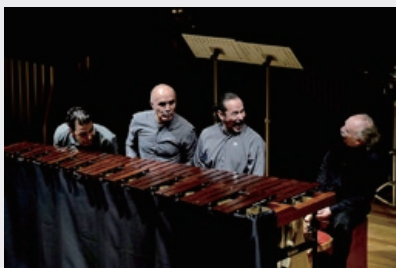
タンブッコの音楽は、いいにおいがする。とても自然で、懐かしく、耳にやさしく、しかも不思議なくらい楽しく、めくるめく変化を生み出す。打楽器の響きが空気になったり、水になったり、風になったり、木や葉を揺らしたり、土埃を舞わせたりしながら、生まれたての自由のような顔をして微笑んでいる。メキシコの4人はひとりひとり名手であり、アンサンブル全体でひとつでもある。しごく当然のことで、自然な世界はそのようにできていて、調和と緊張の間を行ったり来たりしながら、歌ったり舞い踊ったりしている。

タンブッコの奏でる曲の大半は新しく書かれた現代の音楽、それから少し昔の曲の彼らのためのアレンジ。けれど、「現代音楽」という言葉が誘う難解さは、技巧や構築は高度に知的であるにせよ、タンブッコの織りなす響きのなかでは、とても有機的に素材の自然さと溶け合っている。木と金属の音が、すべてを包み込むようにして、人智の工作を再び大きな自然の環のなかへと響き合わせるのだと言ってもいい。

そう、大地のにおい、である。昨年のツアー中に日本で録音された彼らの最新アルバムの名で、コエーリオの曲のタイトルからきている。メキシコの同時代やライヒ、ラヴェルのマリimba版もいっしょに収められているが、タンブッコが叩けば、今世紀も20世紀も太古の時間もひと続きだ。

いろいろな音楽を聴いてきた大人たちはもちろんだが、今回ワークショップに参加もできる小学生にも、音楽なんてふだんは聴かないよという方々にも、彼らの音楽は直接的に訴えかけ、いつのまにかそうしたみんなを包み込んでいるだろう。これはちょっとすごいことだ。もともと音楽は歌と踊りからきているはずで、タンブッコの演奏はそのどちらにもあたりまえのように親しく通じている。

ところで、「タンブッコ」という心地よい響きの名前は、メキシコの大作曲家チャベスの作品名から採られた。地名だったり、出発点という意味もあったりするらしいが、どうであれ、わくわくの始まる場所ならそれでいい。25年の長きにわたる活動を通じて、タンブッコがいつも新しい驚きを運んでくることに変わりはないのだから。



©青柳聡

共催

音楽の現在 音楽、言葉、表現が 競い合うコンサート

日時

9月29日〔土〕
15:00開演

会場

サウスホール



一柳慧 ©Hiroaki Nakano

全席指定 一般4,000円／ペア(2名) 7,000円／ユース(25歳以下) 2,000円
[6月20日(水)一般発売開始]

主催 | 現代芸術の会 共催 | ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)
後援 | 京都市

前衛的な作曲家、演奏家、演出家、俳優が相互の専門領域を拡張することで作り上げるコンサート。

出演 | 一柳慧(作曲、ピアノ)
原田節(オンド・マルトノ)
中川俊郎(ピアノ)
中川賢一(ピアノ)
三浦基(演出) / 劇団「地点」

I部 不思議な楽器オンド・マルトノで聴く: 原田節

II部 “地点語”の世界 一声と音楽: 三浦基

III部 進化する音楽: 一柳慧

主催

『魔笛』 平成30年度新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室・関西公演



La Flûte enchantée (Die Zauberflöte) by W. A. Mozart © Elisabeth Carecchio - Festival d'Aix-en-Provence 2009

モーツァルトの傑作『魔笛』を鑑賞教室公演で初めて上演します。“ジングシュピール”(歌芝居)として親しみやすいこの作品は、「おいらは鳥刺し」「パ・パ・パ」といった親しみやすい曲から、夜の女王の歌う有名なアリア「地獄の復讐はわが心に燃え」等、聴きどころが満載!演出を手がけるウィリアム・ケントリッジは、第26回(2010年)京都賞「思想・芸術部門」を受賞した経歴もある世界的な美術家です。新国立劇場で新制作上演される舞台を、園田隆一郎指揮、日本を代表する一流の歌手陣と京都市交響楽団の演奏でお贈りします。

演目 | モーツァルト作曲「魔笛」(全2幕)

指揮 | 園田隆一郎

演出 | ウィリアム・ケントリッジ

合唱 | 新国立劇場合唱団 管弦楽 | 京都市交響楽団

ザラストロ: 長谷川顯 タミーノ: 鈴木准 弁者・武士II: 成田眞

僧侶・武士I: 秋谷直之 夜の女王: 安井陽子 パミーナ: 林正子

侍女I: 増田のり子 侍女II: 小泉詠子 侍女III: 山下牧子

パパゲーナ: 九嶋香奈枝 パパゲーノ: 吉川健一 モノスタス: 升島唯博 ほか

全席指定 2,160円(高校生のみ)、当日料金 | 2,160円(高校生以下) / 4,320円(一般)
※高校生対象の公演のため、残席がある場合のみ、一般に当日券を販売します

主催 | 京都市、ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、新国立劇場
助成 | 公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション 協賛 | ローム株式会社
平成30年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

総合

参加する劇場へ

15



KYOTO EXPERIMENT 2018

京都国際舞台芸術祭 Kyoto International Performing Arts Festival

2010年にスタートして以来、世界各地の先鋭的な舞台芸術を紹介してきた京都発の国際舞台芸術祭の第9回目。国内外のアーティストと共に作品を製作する「創造するフェスティバル」として、新作を積極的に上演。今回は、女性アーティストおよび女性性をアイデンティティとするアーティスト/カンパニーにフォーカスを当てた全12プログラムを紹介しします。 <https://kyoto-ex.jp/>

参加アーティスト | ウースターグループ [アメリカ、ニューヨーク]
フランソワ・シェニョー&セシリア・ベンゴレア [フランス、パリ]
市原佐都子/Q [東京] ほか

※プログラムの全容発表は、2018年7月を予定しています。

主催 | 京都国際舞台芸術祭実行委員会 [京都市、ロームシアター京都 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都芸術センター (公益財団法人京都市芸術文化協会)、京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター]

主催

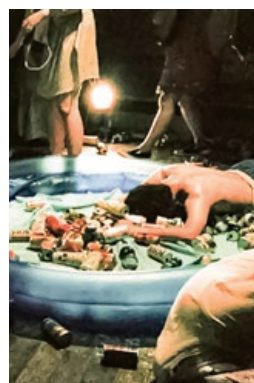
KYOTO EXPERIMENT 京都国際 舞台芸術祭2018

日程

10月6日 [土]
-28日 [日]

会場

サウスホール/ノースホール
パークプラザ/京都芸術センター
京都芸術劇場 春秋座 ほか



安住の地「生成」



akakillike「家族写真」



ブルーエゴナク「訪れないヒのために」

次代を担う若手アーティストが京都から羽ばたく！ 新たな創造支援プログラムが始動。

ロームシアター京都では、京都芸術センターと協働し、若手アーティストの発掘と育成を目的とした新たな創造支援プログラムを開始します。本プログラムでは、創作に専念できるスタジオ (京都芸術センター 制作室) と、舞台設備・技術の備わった劇場 (ロームシアター京都ノースホール) の提供と両施設による広報、制作面のサポート等を通じて、客席数150~200名の規模の作品づくりに挑戦する若手アーティストを募集し、新たな才能が京都から国内外へ羽ばたくことを期待しています。初年度となる今回は、今後の活躍が期待される3組を選出。若いアーティストが、いま何を考え、どのような表現に挑むのか、ぜひご注目ください。

参加団体 | ①ブルーエゴナク ②安住の地 ③akakillike

主催 | ロームシアター京都 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都芸術センター (公益財団法人京都市芸術文化協会)、京都市
※上記は企画の主催クレジットとなります。各公演は、主催 | 参加団体、共催 | ロームシアター京都 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都芸術センター (公益財団法人京都市芸術文化協会)、京都市で開催します。

日程
①12月14日 [金]-16日 [日]
②2019年1月17日 [木]-20日 [日]
③2019年2月15日 [金]、16日 [土]

日程

会場

ノースホール



共催

『カプラーティ家とモンテッキ家』 〜ロミオとジュリエット〜

京都オペラ協会定期公演

日時

12月9日 [日]
14:00開演

会場

サウスホール

ベッリーニによる「ロミオとジュリエット」のオペラ版。13世紀でのイタリアでの貴族間の争いごとをそのまま時代考証するのではなく、1920年代のシカゴを設定した新演出。

全席指定 S席8,000円/A席6,000円/B席4,000円
[6月15日 (金) 一般発売開始]

主催 | 京都オペラ協会
共催 | ロームシアター京都 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 後援 | 京都市

主催

京響クロスオーバー

「バレエ×オーケストラ」〜ニューイヤール・ガラ〜

日時

2019年
1月6日 [日]
15:00開演

会場

メインホール



京都市交響楽団 ©伊藤菜々子



首藤康之 ©阿部稔哉



中村恩恵 ©大河内禎

オーケストラとバレエダンサーの競演によるオリジナルステージ!

京都市交響楽団が、世界で活躍する舞踊家中村恩恵と日本を代表するバレエダンサー首藤康之と共に繰り広げる、オリジナルのステージをお送りします。

出演 | 首藤康之、中村恩恵、林田翔平 (スターダンサーズ・バレエ団)、渡辺理恵、全京大洋舞協会 演出・振付 | 中村恩恵 指揮 | 下野竜也 (京都市交響楽団常任首席客演指揮者) 管弦楽 | 京都市交響楽団

全席指定 S席5,500円/A席4,500円/B席3,500円/C席3,000円
ユース (25歳以下) S席・A席とも500円引き
[7月15日 (日) 一般発売開始] 〈託児あり〉

主催 | ロームシアター京都 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市 協賛 | ローム株式会社
平成30年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

主催

XVII オペラ・プロジェクト 小澤征爾音楽塾



©Shintaro Shiratori

世界的な指揮者である小澤征爾が、自らの音楽経験を後進の若手音楽家に伝えることを目的に、2000年に立ち上げた教育プロジェクトによるオペラ公演です。日本ほかアジア諸国でのオーディションで選ばれる若手音楽家たちで結成するオーケストラと、一流の出演者・制作陣によって、高水準のオペラを制作します。また、一般向けの公演だけでなく、京都府内の小学生を対象にした、「子どものためのオペラ」公演も開催します。

主催 | 小澤征爾音楽塾/ヴェローザ・ジャパン、京都市、ロームシアター京都 (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 企画・制作 | ヴェローザ・ジャパン
共催 | 公益財団法人ローム ミュージック ファンデーション 協賛 | ローム株式会社
平成30年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業 (子どものためのオペラ)

日程
2019年3月

会場
メインホール

参加する劇場へ

主催

プレイ！シアター
in Summer

日程

8月14日[火]

15日[水]

会場

ロームシアター
京都 全館

©Takuya Matsumi

夏休み期間中、子どもも大人もロームシアター京都をめいっぱい楽しもう！こどものための“この日だけ”の特別なお芝居、子ども向けワークショップ、オープンシアター、オーケストラのコンサート…など、“気軽に遊べる劇場”として、子どもから大人まで満喫できるもりだくさんの2日間。家族、友達みんなでロームシアター京都に行ってみよう！

公演・コンサート

ユリイカ百貨店の
「STAR BOX PRESENT!」
14日[火]・15日[水]
サウスホール
〈無料・申込不要・年齢制限なし〉
※子ども向け事前ワークショップあり

京都市交響楽団
0歳からの夏休みコンサート
14日[火] メインホール
〈無料・要申込(先着順)・年齢制限なし〉

オープンシアター

劇場オープナー
15日[水] メインホール
〈無料・申込不要・年齢制限なし〉

徹底解説!

ロームシアター京都建築ツアー
15日[水] ロームシアター京都 全館
講師 | 下川太一(香山壽夫建築研究所)
〈有料(1,000円・当日受付精算)・
要申込(先着順)・未就学児不可〉

ワークショップ・体験

COOL☆子どもディスコ
14日[火]・15日[水] ノースホール
ジャングル?!探検ミニツアー
〈無料・申込優先・5歳以上対象〉
子どもDJ体験
〈無料・申込優先・5歳以上対象〉
子ども向けダンスワークショップ
〈無料・申込優先・5歳以上対象〉
みんなでディスコタイム!
〈無料・申込不要・年齢制限なし〉

その他、オーケストラの楽器体験コーナー、ウミネコ楽団によるミニコンサート、子ども向けワークショップ、などを予定しています。申込方法ほか詳細は、WEBサイト(https://rohmttheatrekyoto.jp)をご覧ください。

主催 | ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市
共催 | 京都岡崎 蔭屋書店 企画製作 | ロームシアター京都 特別協賛 | 医療法人財団足立病院
平成30年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

ダンサーのキレのある動きと照明・音楽・アニメーションが融合する幻想的な世界。想像力をかきたて、好奇心をくすぐる、リアルで美しいダンス・シアター!

11日 12日
11:00 ★
15:00 ★
★ 各回託児あり



©Richard Haughton

プレイ！シアター in Summer プレ企画
アクラム・カーン 振付
『Chotto Desh/
チョット・デッシュ』

日程

8月11日[土・祝]
12日[日]

会場

ノースホール

全席自由 一般2,500円/子ども(18歳以下)1,000円
[6月16日(土)一般発売開始]

主催 | ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市
助成 | プリティッシュ・カウンスル
平成30年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

主催

ロームシアター京都×京都市文化会館5館連携事業
地域の課題を考える
プラットフォーム
CIRCULATION KYOTO 劇場編



中野成樹+フランケンズ



村川拓也



相模友士郎



きたまり



遠山昇司



花房観音



円居挽

“京都ローカル”の姿を探るプロジェクト2年目は、
「人々が集う場」としての劇場をメディアと捉え、
5組のアーティストが新作を発表。
まちが「劇場」をつくり、「劇場」がまちを象る。
文化会館を巡りながら京都のまちを体感する4カ月!

異なる他者をつなぐもの=「メディア」としてローカルメディアの概念を拡張して捉え直し、京都の5つの地域の歴史性、特徴に根ざしたメディアを考案することに挑んだCIRCULATION KYOTO(サーキュレーションキョウト)。2年目は、京都にある5つの文化会館のホール=「人々が集う場」としての劇場をメディアとして捉え、5組のアーティストが参加。それぞれのアーティストが各文化会館の地域を出発点に創作し新作を連続して発表、独自の切り口と方法論で京都という都市のすがたを象ります。同時に、地域社会における劇場の役割、可能性を改めて考えるプロジェクトになるでしょう。

12月1日[土]・2日[日]
京都市呉竹文化センター
中野成樹+フランケンズ

12月15日[土]・16日[日]
京都市西文化会館ウエスティ
村川拓也

2019年1月12日[土]・13日[日]
京都市東部文化会館
相模友士郎

2019年2月2日[土]・3日[日]
京都市北文化会館
遠山昇司×花房観音×円居挽

2019年3月23日[土]・24日[日]
京都市右京ふれあい文化会館
きたまり

※日程は全て予定です

料金未定 [10月上旬一般発売開始予定]

企画製作 | ロームシアター京都 主催 | 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団(ロームシアター京都、京都市東部文化会館、京都市呉竹文化センター、京都市西文化会館ウエスティ、京都市北文化会館、京都市右京ふれあい文化会館)、京都市 助成 | 一般財団法人地域創造 平成30年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業



京都モダンテラス



京都岡崎 蔦屋書店



マルシェ



ルーム・スクエア

販わいスペースについて

ROOMシアター京都が位置する京都岡崎エリアは、東山を望む景観、琵琶湖疏水、美術館、動物園、寺院・寺社など多彩な文化資源を擁しています。

そうした京都岡崎エリアの賑わいの中心として、ROOMシアター京都は、ホールでの催物に加え、日常的にさまざまなサービスやイベントを展開しています。観劇を目的とした方だけでなく、近隣にお住まいの方や観光客の方など、多くの人々の生活や文化芸術と地域のつながりを大切にしています。

パークプラザには、飲み物を飲みながら読書や勉強などができるブック&カフェ(京都岡崎 蔦屋書店/スターバックスコーヒー)、終演前後の語らひを楽しむことのできるレストラン(京都モダンテラス)があります。岡崎公園とつながるルーム・スクエアは、マルシェなどの野外イベントや芸術作品の展示などを通じて、子どもから大人まで楽しめる空間となります。冷泉通と二条通をつなぐブロードウェイは誰もが自由に通り抜けることができますので、総合案内・チケットカウンターやキオスク(ファミリーマート)に気軽にお立ち寄りいただけます。

ミュージックサロン

ミュージックサロンは、音楽とさまざまな形で触れあえる施設です。本格的な音響施設を備えた120インチスクリーンでのオペラ等の鑑賞や、音楽家によるコンサート、専門家によるセミナー、公演に関連した展示などを随時開催しています。



営業時間 | 10:00~19:00 場所 | パークプラザ3階
料金 | 入場無料 ※一部整理券が必要な場合あり

共同運営 | 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団、公益財団法人ROOM ミュージック ファンデーション 協賛 | ROOM株式会社



プログラム策定のためのリサーチ、舞台芸術に関する研究・批評分野と実践の場をつなげる若手人材の育成を目的に、リサーチプログラムを実施します。リサーチテーマは、2017年度に引き続き、「古典芸能と現代演劇」と「子どもと舞台芸術」を予定しています。

リサーチ募集開始時期 | 5月中旬予定

メンター | 吉岡洋(京都大学こころの未来研究センター特定教授)、
若林朋子(立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科特任准教授、
プロジェクト・コーディネーター)

主催 | ROOMシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

主催

ROOMシアター京都 リサーチプログラム

日程

7月-
2019年3月



多様な角度から同時代の社会を知り、捉え直すためのトピックを挙げ、それにまつわるゲストを招きます。複雑化し、混迷する現代を「いかに生きるべきか」。その手掛かりを探り、ともに考えるトークシリーズです。

主催 | ROOMシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

主催

「いま」を考える トークシリーズ

日程

通年

[全4回予定]

主催

ROOMシアター京都× 京都市ユースサービス協会連携事業 未来のわたし 劇場の仕事



劇場の現場に興味のある若者を対象に、劇場の仕事を紹介し、体験してもらうプログラムです。前期は子どもも大人も楽しめる「プレイ!シアター」を、後期は木ノ下歌舞伎と取り組む「レパトリーの創造」を題材に、参加者一人ひとりの関心や将来像に寄り添いながら、「劇場の仕事」をレクチャーと実践でひも解きます。

前期[夏] | 7月17日[火]~8月28日[火] 全7回 後期[冬] | 未定

主催 | ROOMシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、
公益財団法人京都市ユースサービス協会、京都市

日程

前期[夏]
後期[冬]

TICKET

チケットのご購入について

【WEB】オンラインチケット 24時間購入可／要事前登録(無料)

※詳しくはロームシアター京都または京都コンサートホールのWEBサイトへ

URL <https://www.e-get.jp/kyoto/pt/>

【電話・窓口】ロームシアター京都 チケットカウンター

TEL 075-746-3201 (窓口・電話とも10:00~19:00/年中無休 ※臨時休館日を除く)

【電話・窓口】京都コンサートホール チケットカウンター

TEL 075-711-3231 (窓口・電話とも10:00~17:00/第1・3月曜日休館 ※休日の場合は翌日)

CLUB

京都コンサートホール・ロームシアター京都
Club会員募集中!

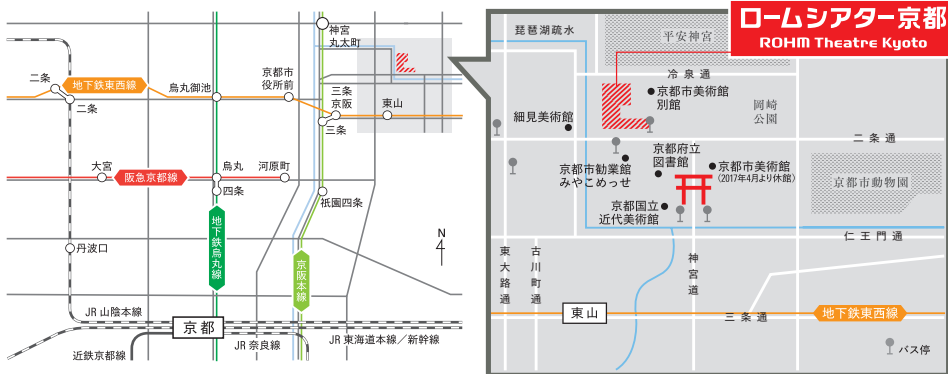
いつでもご入会いただけます。

入会金	年会費	会員期間
無料	1,000円(税込)	1年間 (4月1日~翌年3月31日)

- | | | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------|-----------------------------------|
| 特典
①
チケット
優先予約
※指定公演のみ | 特典
②
チケットの
割引販売
※指定公演のみ | 特典
③
公演情報等の
ご送付 | 特典
④
お電話1本で
楽々チケット購入! など |
|------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------|-----------------------------------|

詳細はロームシアター京都チケットカウンター (TEL.075-746-3201) までお問合せください。

ACCESS



〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町13

- 京都市営地下鉄東西線「東山」駅下車1番出口より徒歩約10分
- 京阪電鉄「神宮丸太町」駅下車2番出口より徒歩約13分
- 市バス32・46系統、京都岡崎ループ「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車すぐ
- 市バス5・100・110系統「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車徒歩約5分
- 市バス31・201・202・203・206系統「東山二条・岡崎公園口」下車徒歩約5分

CONTACT

TEL 075-771-6051 (代表) 075-746-3201 (チケットカウンター)

FAX 075-746-3366 URL <https://rohmtheatrekyoto.jp/>